

～寄り合って、寄り添って、みんなで育て、みんなで育つ～



長崎市立三原小学校

「誇りをもち、主体的で、自律できる子どもの育成」

～安全・安心を大切に作る三原っ子～



MIHARA TIMES

令和6年11月25日発行

文責 校長 増崎 祥宣

小音会に参加しました。2年生。

11月12日（火）、長崎市小学校音楽会（小音会）がブリックホールで開催されました。本校からは、2年生が代表として出演しました。

2年生は、1学期から少しずつ練習を重ねてきました。楽器の演奏は、難しかったのですが、音楽の時間だけでなく、休み時間にも練習を重ねた結果、上手に演奏できるようになりました。1週間ほど前には、励ます会が行われ、全校児童の前で「聖者の行進」の演奏を披露しましたが、その時よりもさらに、素晴らしい演奏ができていたと思います。

三原小学校は、初めのあいさつも担当しましたが、代表の2人は、はきはきとした声でしっかりとあいさつを行うことができました。

子どもたちは、「楽しかった」「また、出たい」などの感想を話していました。この小音会へ向けての取組で大きく成長できたと思います。これからの学校生活に生かしてくれるだろうと思います。応援に来ていただいた保護者の皆様もありがとうございました。



ふれあいセンターまつり。

11月10日（日）、三川地区ふれあいセンターにて、「ふれあいセンターまつり」が開催されました。

本校からは、バザーや飲み物・パンの販売のお手伝い、有志ダンスメンバーによるダンスの発表、絵画や書写の作品展示などで「まつり」に関わることができました。

特にダンスメンバーは、本校の卒業生でもあるプロダンサーの片岡さんに指導をしていただき、4回の練習にも関わらず、参加者を楽しませてくれました。

来年は、もっとたくさんの人を楽しませたいです。



特別支援学級交歓会。

11月7日（木）、長崎市特別支援学級交歓会が開催されました。市民会館体育館に北部ブロック9校の特別支援学級児童が集いました。本校からも11名の児童が参加し、かけっこやゲーム、大玉転がし、ダンスなどを他の学校の児童と一緒にを行いました。競い合ったり、応援し合ったり、楽しい時間を過ごしました。6年生の児童は、中学校進学へ向けて、みんなへの感謝と抱負をそれぞれが発表することができました。